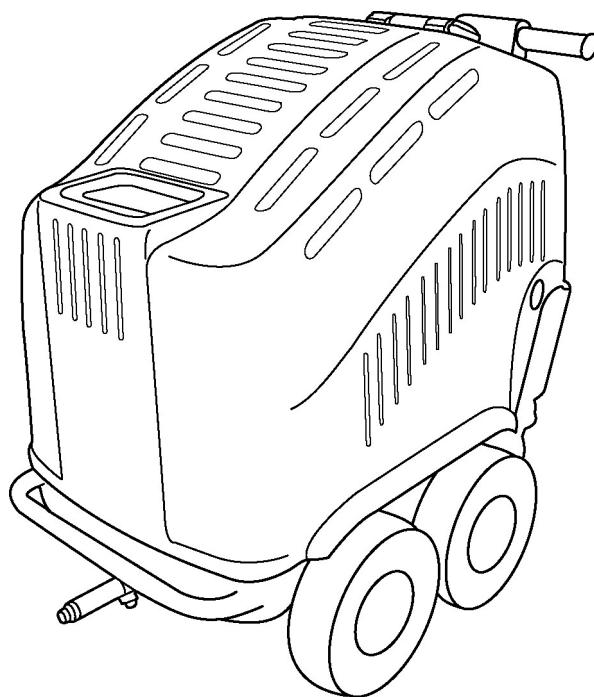


SEIWA
OPE-MAN/JS07V/2507

セイワ スチーム温水洗净機

ジエットスター
JS★07V

取扱説明書



ご使用前にこの「取扱説明書」をよく読み正しく
お使い下さい。誤った取り扱いは機械の故障や
大変な事故につながります。
機械を操作する前にいつでも見られるように大切
に保管して下さい。

目 次

	ページ
1. 総合的注意事項	1
2. 使用の前に	1
3. 適切に使っていただく為に	1
4. 製品仕様	2
5. 主な部品	2~3
6. 使用方法安全上の注意	3
7. 納品時確認事項	4
8. 標準付属品	4
9. 取り扱い並びに移動について	4
10. 設置について	5
11. 給水	5
12. 電源	5
13. 付属品の準備	5
14. 燃料の補充	6
15. 起動	6
16. 安全装置、制御装置	7
17. 保管	7
18. 安全上の注意	7
19. 表示及びラベル	8
20. メンテナンス	8~9
21. コイル内部清掃	10
22. 保証	11
23. 振動と騒音	11

1. 総合的注意事項

当社スチーム温水洗浄機をお買い上げいただきありがとうございます。

『JS-07V』は210°Cのドライ・スチームにより広範囲の汚れを表面を傷めずに落とします。

このマニュアルは、常に直ぐに取り出せるところに保管して下さい。

本機を操作される方並びにメンテナンスをされる方は本マニュアルをよく読んで下さい。

故障や疑問があれば、浜松配達センター053-485-6181にご連絡下さい。

本マニュアルの掲載事項は予告無く変更されることがあります。

ご使用の前に後述する銘板とご使用環境が適合していることをお確かめ下さい。

万一不適合な物が有りましたら、ご使用を止め、お買い求め店に直ぐにご連絡下さい。

作業現場に機械を放置しないで下さい。

ご使用後は雨風の当たらない所に保管し、高温や湿気を避けて下さい。

安全な場所でご使用下さい。

解体する場合は、地方条例に基づいた処置をして下さい。



機械を安全に効率良く使用いただくため、電源を入れる前に本マニュアルを良く読んで下さい。

本機の特性を良くご理解頂いた上で、ご使用下さい。

使用される方はこのマニュアルを良く読んで、本機の特性を良くご理解いただいた上で、ご使用下さい。



重要！ 作動圧力はポンプに表示してある圧力を超えないようにして下さい。(製品仕様のページ参照)

2. 使用の前に

人について……法律に基づき以下の用語を使います

未習熟作業者……後述する操作手順に従って機械の操作ができる人。

機械保全作業者……熟練作業であって、後述の調整や日常点検作業また、メンテナンスをする為に本機を通じて操作することができ、機械部を操作できる人を言います。

認定作業者……社の認定を受けた熟練作業で、複雑な作業のできる人を言います。

社外熟練作業者……メーカー及びディーラーの代行で改造、修理、取替えなど熟練作業をこなせる人を言います。

3. 適切に使っていただく為に。

本機はプレス成型されたベースにボイラー、電動モーター、高圧ポンプ等の主要部品を組み付け構成されています。燃料タンクは樹脂成型部品並びに板金部品で構成され、本機の一部を構成しています。

本機は高温スチーム洗浄に適した表面でのみ使用してください。

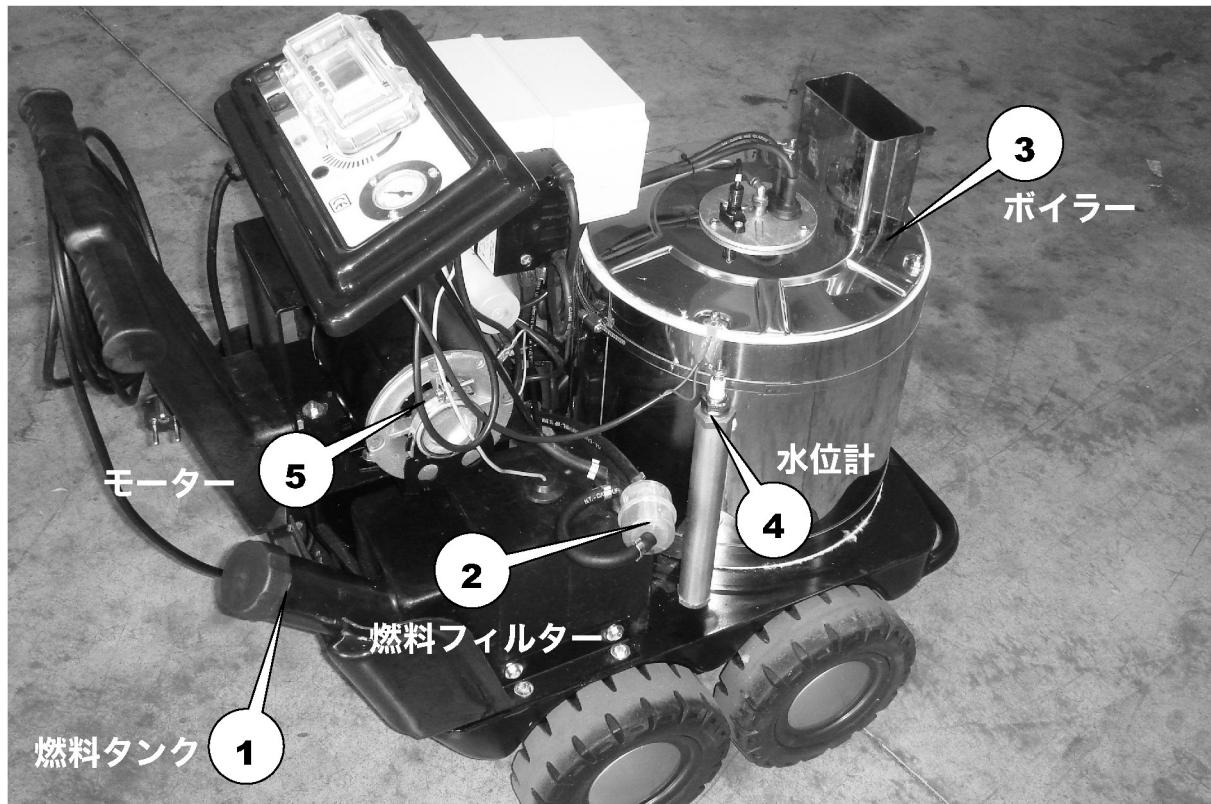
本機で動物や人を洗浄しないで下さい。また本機を洗浄しないで下さい。

噴射を人に向けて使用しないで下さい。又自分の衣服や靴の洗浄に使わないで下さい。

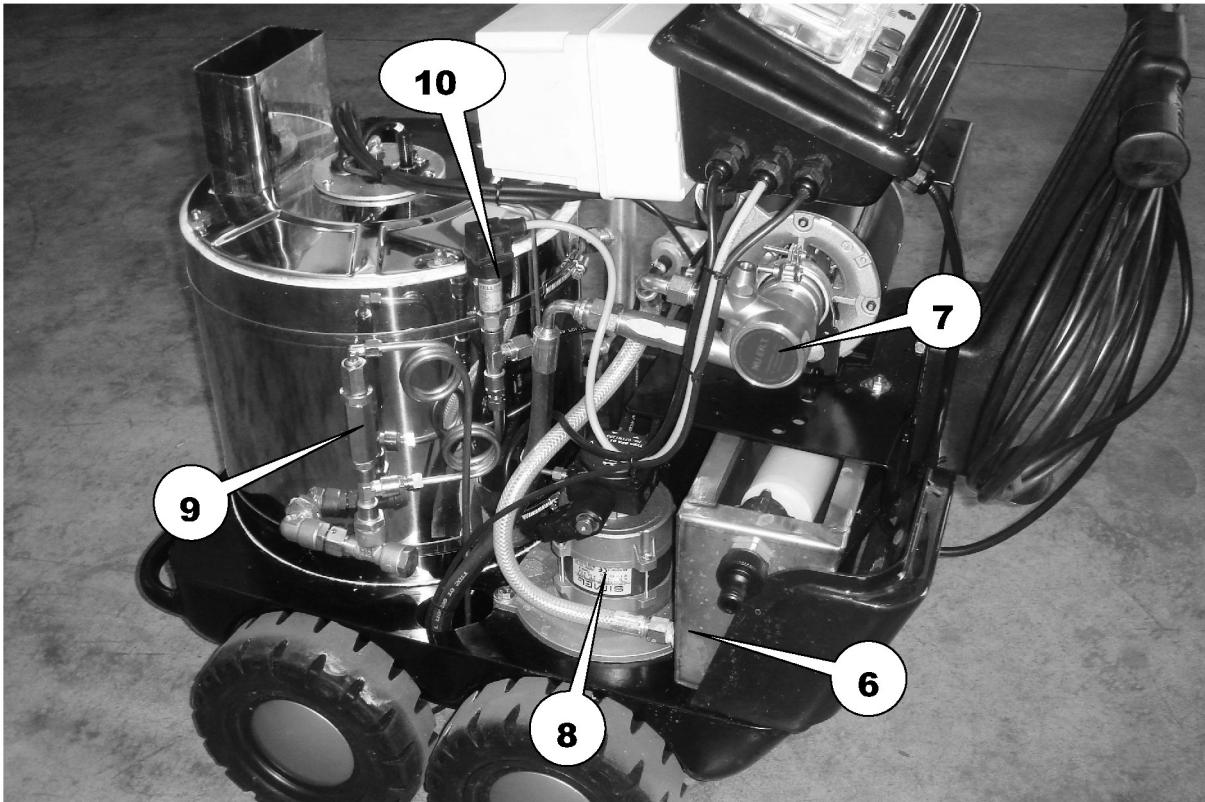
4. 仕様

スチーム温水洗浄機	JS-07V
常用最大圧	0.7MPa
吐出量	ドライスチーム ウェットスチーム 0.2 ℥/min ・ 0.5 ℥/min
モーター出力	180W
電源	100V 50/60Hz
スチーム最高温度	ウェットスチーム ドライスチーム 160°C・210°C
吐出温度	150°C~210°C
回転数	1400rpm
スチーム最大粒径	5μ
燃料料	灯油
重量	78kg
外形寸法	850x540x730(mm)
燃料タンク容量	8 ℥

5. 主な部品



5. 主な部品



6. 使用方法安全上の注意

- ・ご使用の前に製品の使い方を習熟して下さい。
- ・水の供給が途切れないようにして下さい。空焚きは密閉部品に損傷をひきおこすことがあります。
- ・電気配線は熟練技術者又は専門の訓練を受けた方がして下さい。
- ・電線を引っ張ってプラグを抜かないで下さい。ホースを引っ張って機械を動かさないで下さい。
- ・内部結霜を避ける為、氷点下の温度での使用、保管は避けて下さい。
- ・機械操作及び保守はこのマニュアルに沿って行って下さい。
- ・天気の悪い場合は機械の機能を損なわないよう屋根のあるところでご使用下さい。
- ・修理には専用部品をご使用下さい。
- ・機械の使用中は換気をして下さい。排気口を塞がないで下さい。
- ・換気の取れない場所で使用する場合は排気用煙突を設置して下さい。
- ・排気口は塞がないで下さい。ラヌスや他の物品を排気口付近にもたれ掛けないで下さい。
- ・本機は灯油を燃焼しています。換気と排気口付近が高温になることを十分理解のうえ、十分な換気とヤケド止に適切な措置を取って下さい。
- ・雨や荒天下での使用は避けて下さい。
- ・手袋、ゴーグル、滑り止めの靴等保護に適切な服装に配慮して下さい。
- ・機械のスイッチを切る場合はガンを使ってホース内の圧力を逃がして下さい。
- ・電源コードが損傷している場合や機械に不具合が認められる場合は機械の使用を控えて下さい。
- ・作業現場で機械を放置しないで下さい。
- ・使用後は気温の低い、乾燥した場所に保管して下さい。

7. 納品時確認事項



警告

- ・メンテナンス作業を行う際は必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
- ・電源コードに変更を加えないで下さい、又損傷が無いことを確認して下さい。
- ・ホース、付属品、接続部材は機械の安全の為に大切な部分です。
- ・メーカーが推奨する専用品以外は使わないで下さい。
- ・スチームは使い方を間違えると危険です。絶対に人に向けないで下さい、また通電している電機製品や本機に向けないで下さい。
- ・必ずきれいな水道水を使って下さい。フィルターを通さない水や腐食性の薬品を含む水の使用は危険です。
- ・機械の傾斜は20度を越えないようにして下さい。(満タン時)
- ・電源の延長コードは使用しないで下さい。使用場所によっては、水や湿気が高く、漏電の危険があります。
- ・電源コードに破損がなく、しっかりと絶縁されていることを確認して使用して下さい。
- ・指定燃料以外は使用しないで下さい、危険です。
- ・本機は燃焼機を搭載しています。適切な換気や排気が確保できない場所での使用は止めて下さい。
- ・純正の補修用部品以外は使用しないで下さい。
- ・爆発の危険がある環境での使用はしないで下さい。
- ・製品到着の際に梱包に運送上の破損が無いことを確認して下さい。又製品、付属品が全てそろっていることを確認して下さい。
- ・破損や製品、付属品に不足が認められる場合は、運送会社や保険会社に連絡して下さい。
- ・製品が到着した際、運送伝票と現物に差異がないことを確認して下さい。
- ・機械を移動する前に、搬送器具や、付属品が本機を移動するのに適していることを確認して下さい。
- ・移動の際は搬送器具の指示を守って、安全に移動して下さい。
- ・本機の梱包には運送に適した材料と梱包仕様を採用しています。梱包材の廃棄は地域の条例に従って適切に廃棄をお願いします。

8. 標準付属品

製品が届きましたら、下記の付属品がそろっていることを確認して下さい。

自動洗浄ガン、耐熱ランス、耐熱ホース10m、水道直結用ホース

9. 取り扱いと運送について

機械を移動する際は

1. 全ての接続を外して下さい。
2. 高圧ホース、ガンなど付属品を取り外して下さい。
3. 本体を安定した台に乗せ、固定して下さい。
4. 本体にブレーキをかけて固定して下さい。
5. 吊り上げ機のベルトや、フォークは台の下にかけて、バランスを確認して下さい。

本機の重量が搬送機器の容量を超えないようにしてください。

安定した平坦な場所で取り扱いをして下さい。傾斜したところでの取り扱いは避けて下さい。

資格の無い人は離れていて下さい。



10. 設置

本機の性能を十分に使っていただくために、指示に従い、注意して設置をして下さい。機械を始動する前に、平坦であることを確認して下さい。

10-1. 給水

吸水ホースを吸水部 E に接続して下さい。
ねじれや、凍結に対応する内径16~18mmの
補強入りホースの使用をお勧めします。

吸水は最低15ℓ/分、吸水温度60°C以下、
最低圧0.2MPa、最高圧3.5MPaの吸水蛇口へ
接続して下さい。(図5)

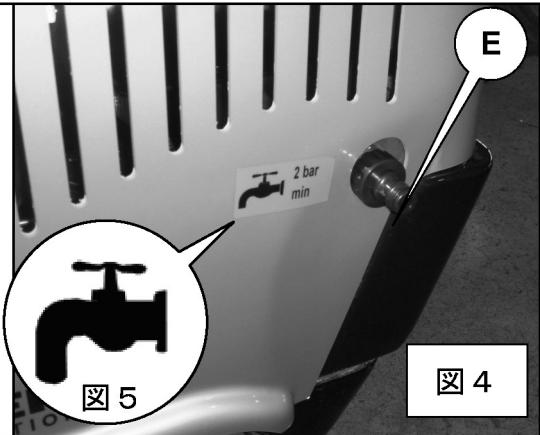


図4

10-2. 電源

過電流、漏電ブレーカーの設置された、アースの取れている固定電源への接続をして下さい。

電源工事は資格のある電気工事作業者が行って下さい。電源は条例で定められた保護措置がされていることを確認して下さい。もしも延長コードを仕様する場合は、耐水没性の接続具を使用して下さい。



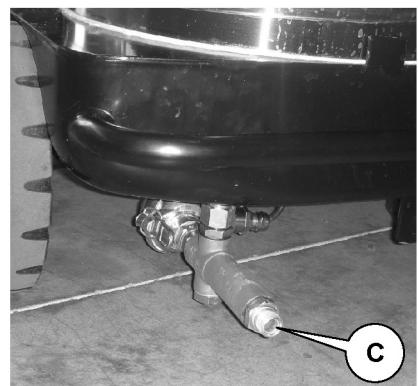
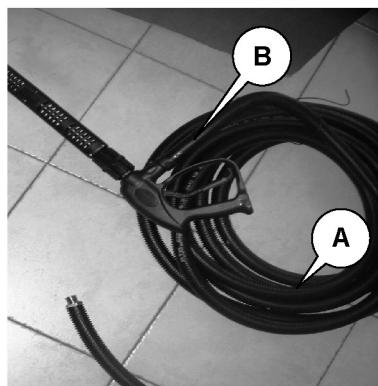
警告

不適格な延長コードによる延長は危険です。

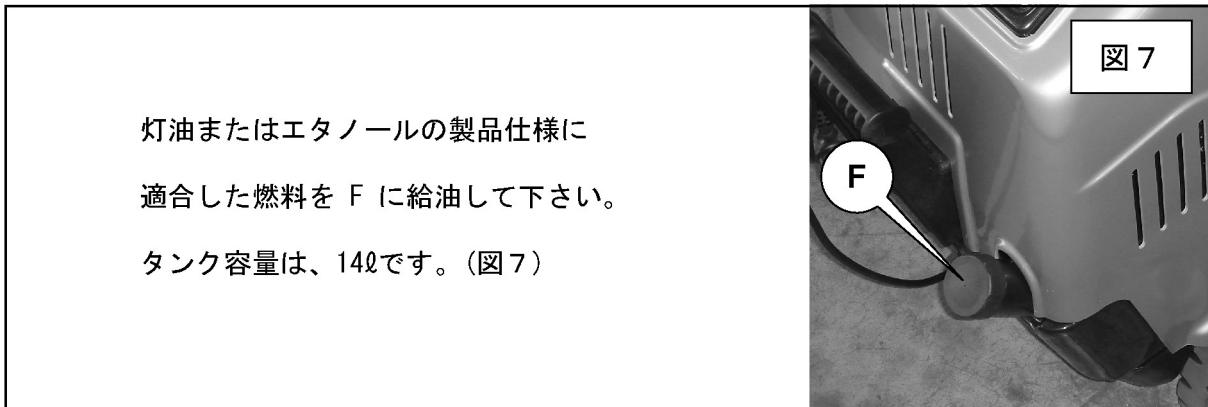
10-3. 付属品の準備

高圧ホース A をガン B に接続し、固定ネジ C を締めて
ホースの反対側を機械に接続して下さい。(図6)

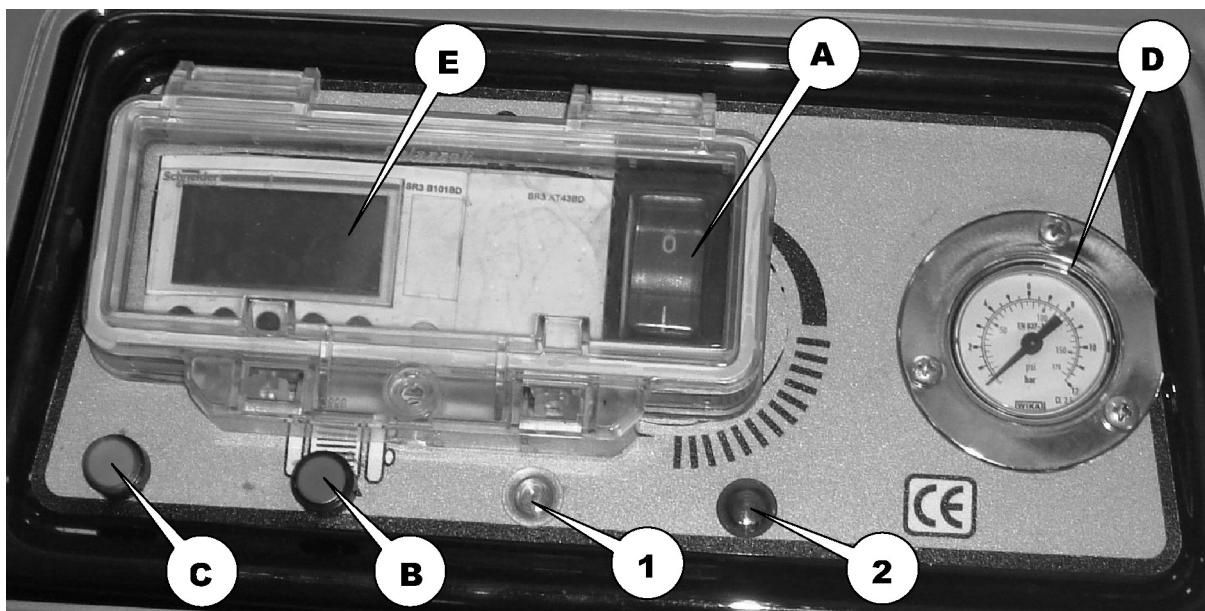
図6



10-4. 燃料補給



11. 始動



操作盤の設計はできるだけ操作が簡単に出来るように工夫しています。.

A スイッチで電源が入り、表示が点灯します。モーターポンプの始動には **B** スイッチを入れてください、吸水が始まり、レベルまで給水するとバーナーが点火し、最大圧力0.7MPaまで圧力が上がります。これで機械は使用できます。 ウエット・スチームを使うには **C** のスイッチを押して下さい。ボイラー内部が二次水位に達するまで自動吸水します。(所要時間約2分)この間も機械は(ドライ・スチーム)使用できます。

C ウエット・スチーム解除にはボイラー内部の水位検知器が元のレベルに戻るまでの時間が掛かります(所要時間約2分)。

D 圧力計は内部圧力を表示します。

警告灯**1**は電源が入り内部の電気部品へ通電していることを表示します。

警告灯**2**は必要な吸水が完了すると点灯します。

表示灯 **E** はスチームの温度(230°C~250°C)及び最高圧力(0.7MPa)を表示し、また機械の不具合も表示します。



警告

B スイッチを切っても内部のバーナー冷却ファンは温度が60°Cに下がるまで作動します。
冷却ファンが止まればスイッチ **A** を切り完全に機械を停止できます。

12. 安全装置、制御装置

全ての安全装置は工場で装着し、検査されています。これらの装備への変更は絶対にしないで下さい。

・7bar(0.7MPa) 圧力制御装置

スチーム圧力が7bar(0.7MPa)に達すると自動的にバーナーを消火し、圧力が6.7bar(0.67MPa)まで下がると自動復帰させます。

・安全弁

スチーム圧力が12bar(1.2MPa)まで上昇すると、スチームをボイラーの排気口へと逃します。

・温度制御装置

スチームの温度が設定温度を超えると自動的にバーナーを切り、温度が下がると自動復帰します。

・燃料切れ対応装置

燃料が設定レベルを下回ると自動的にボイラーは停止しますが、冷却ファンは作動し続けます。燃料不足は表示盤に表示されます。

・燃焼制御

ボイラーの炎が検知されない場合は機械を停止し、「バーナートラブル」を表示します。

13. 保管

作業終了後はガンを使ってホース内部の圧力を逃し、ガンの安全ロックを掛けて下さい。ホースは破損しないように巻き取って下さい。安全な場所に保管し、知らない人が使うことの無いようにしてください。機械は凍結の恐れの無い安定性が保たれる平坦な場所に保管し、傾斜したところには置かないで下さい。

14. 安全上の注意.

本機は使用上の安全性を十分に考慮して設計しておりますが、取り除くことが出来ない危険の可能性があることをご理解下さい。



警告

危険の可能性を避けるために本マニュアルに記載された注意事項を守って下さい。ゴーグルや、安全靴、やけどしにくい防護衣類を使用し、決して製品に改造を加えることはしないで下さい。

又、製品使用者、サービス、保守の方は下記関連安全注意事項を十分に理解していただけるようお願いします。

・高温注意

高温の排気ガスによるやけどの恐れがあります。高温になる部分にはプラスティックのカバーを付けています。

排気口付近は高温になる恐れがあります。このような部分には注意ラベルを貼付しております。

・安定性注意

機械が不安定にならないように使用下さい。安定性を保つために平坦なところに置き、傾斜は最大20度とし機械にはブレーキを掛けて下さい。

・電源

電源からの危険性を避けるために下記の装置が装備されています。

規格により選択可能なアース接続に対応するターミナル付き電源接続コネクターや通電部品には適切な安全値を確保するプラスティックカバーで保護されています。この部分の内部は決して触らないで下さい。

・高圧水及びスチーム注意

本機の水経路は水道から吸水されます。起こりうる危険性を回避するために下記の装置が採用されています。設計圧力に給水圧を制御するバルブを水の回路に採用しています。

全ての部品は基準に適合したものを採用し、余裕を持たせた選択をしています。

使用とメンテナンスの手引書で、注意事項を含めた使用説明書としています。また、水回路への接続上の注意事項(例:水道への接続上の注意事項等)を説明しています。

・騒音と振動

本機の最大騒音、振動レベルは問題になる危険性の低い数値です。しかしながら、使用者へのリスクレベル作業場の健康と安全に関する規則に従って計測してもらう必要があります。

・転倒注意

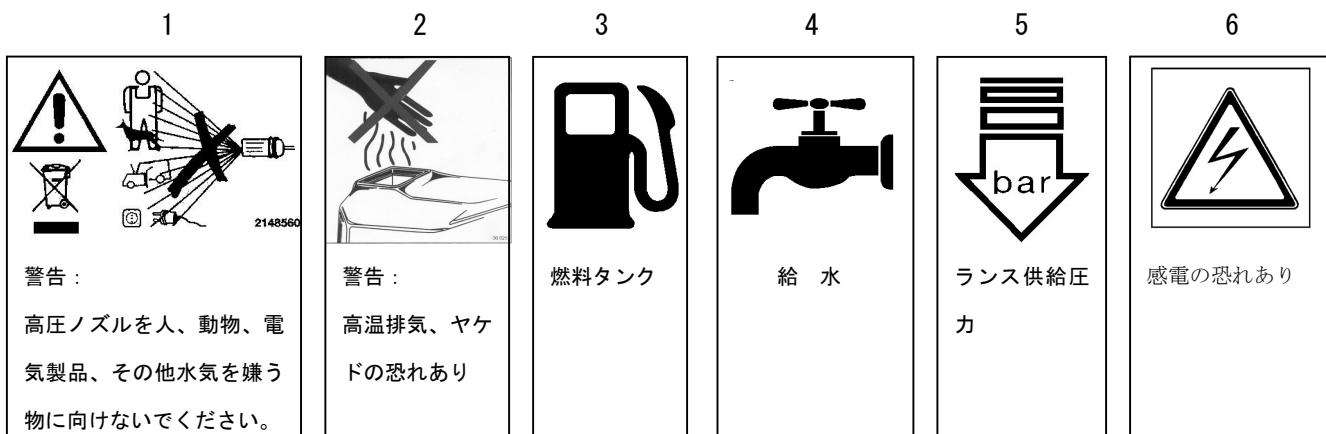
本機の使用環境は水溜りや濡れた床などの滑りやすくなることがあります。滑りにくい靴の使用や、廃水に注意して下さい。

・落雷

絶縁効果の高いタイヤを使用していますので本機の使用で落雷を呼び寄せるリスクは低いものです。又悪天候時には屋根のあるところで使っていただくことにより、更に落雷のリスクは下がります。

15. 表示及びラベル

本体には各種注意ラベルを貼付しています。更に地方条例等で規制がある場合にはそれに従って、安全にご使用下さい。それぞれのレベルは下記の注意事項を示します。



警告

高圧ノズルを人、動物、電気製品その他水気を嫌う物に向けないで下さい。

本機を廃棄する場合は地域の廃棄物処理場に相談して適切な廃棄処分をして下さい。

16. メンテナンス



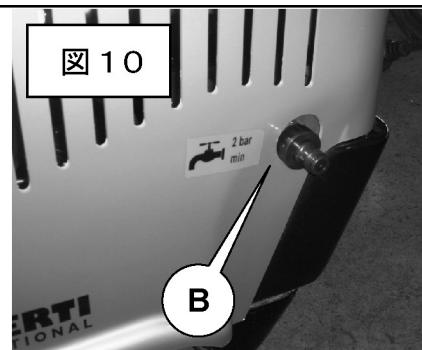
警告

- ・熟練作業者以外は補修、メンテナンス作業をしないで下さい。
- ・メンテナンス作業は機械を必ず平坦な場所に置いて行って下さい。作業に掛かる前に電源及び給水を外してください。
- ・機械を長く安定した状態でご使用いただくために純正の部品又はメーカーが認める部品使用をお願いします。
- ・お買い上げ頂いた機械は適切な始動と運転を確保する為に検査工程を合格したものです。
- ・警告！ 長期間機械を使用しないでおいた場合は、再始動する前に、コイルに水を通して下さい。最低でもコイルから澄んだ水が流れ出すまで注水をして下さい。
- ・主要なチェックと共に以下の定期的な検査をして下さい。

図 10

水フィルターの清掃：

給水回路の入り口に設置しているフィルターを
ブローして清掃して下さい。



毎月又は毎100時間使用後

燃焼ヘッドの清掃と電極の検査：

機械の外板を外し、図11、Aに示す3本のビスを外して下さい。

燃焼ヘッドを図Bの位置まで引き出して下さい。

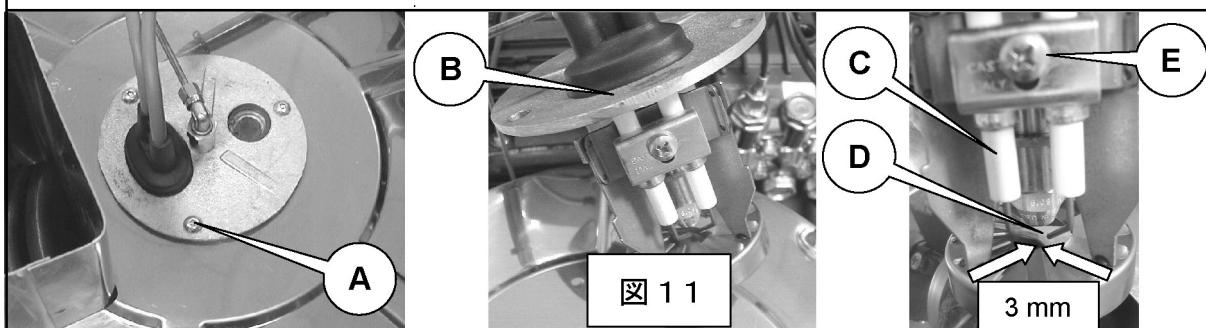
エアーでブローして燃焼ヘッドを掃除して下さい。

その後グロープラグCの状態を確認して下さい。

グロープラグと電極の間隔は3mmです。

この間隔を調整するにはプラグ固定板のビスEを緩め、グロープラグの位置調整をして下さい。

3mmの間隔に調整後、ビスを締め、燃焼ヘッドを元のように3本のビスで固定して下さい。図A
この作業は熟練作業者が行ってください。



毎月又は毎200時間使用後

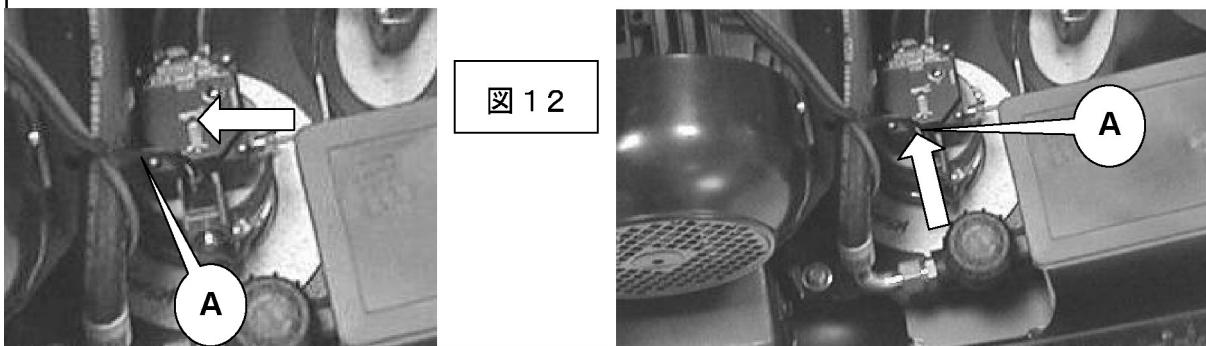
燃料ポンプフィルター清掃：

機械の外板を軽くエアーで吹いて詰まりを取り除いて下さい。

詰りがひどい場合は交換して下さい。

この作業は熟練作業者が行って下さい。

図 12



17. コイル内部清掃

40稼動日毎、下記手順に従って下さい。

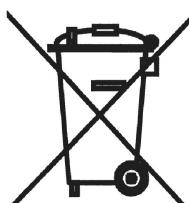
1. ライム除去洗剤1kgを10ℓの水で溶いて下さい。
2. 本体から水の接続を取り外して下さい。
3. 機械の外板を外して下さい。
4. ランスからノズルを取り外して下さい。
5. ランスを1.で準備したライム除去溶剤に差し込んで下さい。
6. 機械を20分間冷水で運転して下さい。
7. 機械の外板を取り付けして下さい
8. 本体に水の接続をして下さい。
9. ランスにノズルを取り付けず、きれいな水が出てくるまで機械を運転して下さい。
10. ランスにノズルを取り付けて下さい。

18. 補修部品

部品の注文には以下の内容を連絡して下さい。

- ・機械のモデル名
- ・製造番号
- ・製造年度
- ・部品名称ならびに数量

19. 廃棄に際して



機械を廃棄処分される際には、それぞれの地方の定める規制に従って処理をお願いします。本機は鉄製の部品並びにリサイクル可能な樹脂部品で構成されています。ポンプにはオイルが含まれています。オイルは環境への影響が大きな物質ですので、配慮した処分をお願いします。機械の廃棄、電機、電子部品の処置、オイルの処置に地域の廃棄物処理施設に問い合わせて下さい。

20. 単相電機製品

21. 不具合、原因、対処

不具合状況	原因	対処
水が出ない	フィルター汚れている 入力バルブが詰まっている ランスのノズルが詰まっている	清掃または取替え 給水バルブの点検 ノズル詰まりの除去
圧力が不足又は不安定	水不足 ポンプエアー入力 バルブの消耗 ノズルの消耗もしくは不適切 ガスケットの消耗 コイルのライム蓄積	給水の適正点検 ポンプの点検 交換 交換 交換 ライムの除去
バーナーが点火しない	過剰空気調整 燃料フィルターの汚れ 燃料ポンプフィルターの汚れ バーナーノズルの汚れ サーモスタットの不良 電磁弁の詰まり又は不良 電極へのスパーク不足 流量計および又は圧力制御の不良 ポンプモーターカップリングの消耗 電圧不足	点検 交換 清掃もしくは交換 交換 交換 交換 交換 点検
騒音	空気吸引音 水不足	空気吸引パイプの点検
始動ボタンを押してもモーターが始動しない	オーバーヒートによりプラグが作動しない	プラグ、配線、スイッチの点検
モーターが突然停止する	オーバーヒートにより 温度上昇保護回路が作動していない	電圧が製品仕様に適しているか点検

22. 保証

保証内容は別途購入時に発行された保証規定を参照下さい。

23. 騒音と振動

本機はUNI EN ISO 3744:2009に基づいた騒音レベル(音圧レベル)測定基準に基づいた測定による測定結果を表示しています。

測定に際しては本機は通常運転に準じた作動をしています。

音圧レベルは機械から2メートルの位置で、UNI EN ISO 3744:2009 (Appendix C)で規定される高さで測定します。

暗騒音値は同条件にて機会を作動せずに測定しております。

23-1. 圧力レベル並びに騒音値

結果

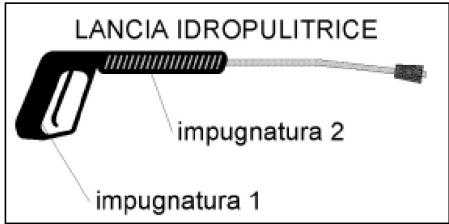
測定結果並びにUNI EN ISO 3744:2009に基づく計算による結果

- ・音圧レベル 78.4 デシベルA
- ・音響出力レベル 93.0 デシベルA

23-2. 振動値

実測結果

スチームクリーナー型式 ジェットスター/JS-07V	ランス 握り手 図1参照	手、腕に伝わる震動 Awsum [m/s ²]	Action level (see Decree Law 81/08) [m/s ²]
		1 1.49 2 1.13	2.5


Figura n°1

スチーム温水洗浄機の運転開始前に必ず下記空欄に必要な
ことからを記入して下さい。点検の時に大変役に立ちます。

項目	ご記入欄		
型式	JS-07V	ご購入年月日	年月日()
製造番号	No.	ご使用開始年月日	年月日()
ご購入先 (必須) ※必ずご記入ください	〒 TEL ()		

アフターサービスについて

保証規定

1.保証内容

お買い上げの日から1年の間に正常な使用状態にも関わらず弊社の責任に基づき故障が発生した場合は無償修理させていただきます。

2.適用除外 ●保障期間中でも下記の場合には適用いたしません

- (1)不当な修理や改善による故障、損傷。
- (2)お買い上げ後の落下などによる故障、損傷。
- (3)火災、塩害、ガス外、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障、損傷。
- (4)使用・取扱い上の酷使、過失、手入れ不十分および外的損傷による故障、損傷。
- (5)ノズル、摺動部の磨耗およびパッキン等の消耗部品。
- (6)注意事項および取扱説明書に記載した内容の範囲外の条件で使用した故障および損傷。
- (7)書類に不当な字句訂正などがあった場合。

3.本書はお買い上げの納品書(納入口が記載されていることを確認)とともに大切に保管してください

ユーザー登録について

～保証対象の確認および、速やかな保証対応のために、機械購入時にユーザー登録をお願いしています～
同封の保証書に必要事項をご記入いただきFAXいただくか、弊社ホームページ経由でも受付をしています。
ホームページ経由でご登録いただきますと、ご購入いただいた商品のメンテナンス情報、関連する付属品、
便利なオプション品情報、新商品情報など、定期的に情報配信をさせていただきます。

是非、この機会にご利用くださいますようお願いいたします。

・登録場所／精和産業トップページ右側中段「機械ご購入者様用・保証書ユーザー登録」

<https://www.seiwa.com>

ここからも登録できます→



修理サービス

修理はお買い上げの販売店又は、弊社最寄りの営業所にご連絡ください。

SEIWA 精和産業株式会社

浜松配達センター

〒432-8006 静岡県浜松市中央区大久保町1348
TEL 053(485)6181 FAX 053(485)6180

仙 台	981-1105	仙台市太白区西中田6-15-13	TEL	022-241-2145
群 馬	371-0854	群馬県前橋市大渡町1-8-6	TEL	027-251-3457
東 京	136-0072	江東区大島5-12-7	TEL	03-3638-6911
神 奈 川	242-0029	大和市上草柳8-28-18	TEL	0462-63-3029
名 古 屋	453-0839	名古屋市中村区長篠町4-15	TEL	052-412-1717
大 阪	547-0001	大阪市平野区加美北8-1-18	TEL	06-6794-3511
岡 山	710-0841	倉敷市堀南606-1	TEL	086-426-5200
福 岡	816-0912	大野城市御笠川1-8-7	TEL	092-504-7213
エス・ティー ・ツール	891-0175	鹿児島市桜ヶ丘2-22-10	TEL	0992-75-7550
塗機商事	903-0124	中頭郡西原町吳屋108-6	TEL	0989-43-4495